

第2特科連隊 令和4年度 一般陸曹候補生課程後期及び 新隊員特技課程教育 令和4年7月1日（金）～9月18日（日）

第2特科連隊は、野戦特科職種の基礎となる「99式自走155mmりゅう弾砲」について教育をしました。射撃のために必要な砲班訓練や火砲掩体の構築等の野外訓練をメインとし、様々な教育を行いました。

区隊長は、1区隊が2大隊 竹山聖真2尉、2区隊が第1大隊 松田隆義3尉です。

今回の被教育者の中で最年長でムードメーカーの及川2士に話を聞くと、「年齢のギャップはありますが、1人1人個性が違うので、楽しく過ごすことができました。とてもやりがいがあり、自分なりに尽くすことができました。」、伏見2士に一番の思い出を聞くと「初めてのりゅう弾砲の空包射撃です。小銃とは迫力が違うのでドキドキしました。他にも、掩体構築は誰が何をやるか仲間と話し合っ、気持ちを1つにして、上手くできました。」、女性自衛官の太田2士は「前期教育とは時間の使い方が違うので、最初はバタバタしてしまい、区隊旗を忘れて助教に回収されてしまったことがありました。そこで、どうしたら返してもらえるのかを皆で話しあって問題を解決して、無事に区隊旗を戻してもらったのが思い出です。体を動かすのが好きだし、早く自立したかったので入隊しました。元々サバサバしているので、男女関係なく馴染んで頑張ってます！」と元気に答えてくれました。

体力検定の3000m走では区隊長も一緒に走り、隊員をゴールさせてはまたゴール手前に戻って、別の隊員を激励してゴールさせる姿を何度も見て、区隊長や班長達の新隊員に対する熱い気持ちを感じました。（熱中症予防のため、一部でマスクを外して訓練しています。）



宮崎駐屯地司令による視察(8/22)



休憩中の1コマ 明るい雰囲気



体力検定 腕立て伏せ





体力検定 腹筋



開始前に班長からプレッシャーが



区隊長の熱い思いを受け、ラストスパート！ 体力検定 3000m走 女性自衛官同士の絆を感じます